

議員説明会 会議録

1 開催日時

令和8年6月1日(月曜日) 午前10時50分～

2 件名

JR花巻駅東西自由通路等整備事業等の補正予算について

3 議事録

(伊藤総合政策部長)

再開いたします。

続きまして、3件目、JR花巻駅東西自由通路等整備事業等の補正予算について、建設部都市政策課及び生涯学習部新花巻図書館整備室が担当でございます。

それでは、ご説明をお願いいたします。

蛭田建設部長。

(蛭田建設部長)

本日は、説明のお時間をいただきましてありがとうございます。

今回は、JR花巻駅東西自由通路駅橋上化事業・花巻駅西口広場整備事業及び、新花巻図書館整備事務に関する6月補正の補正予算の内容をご説明させていただきます。

3月議会で承認をいただいた今年度のこれらの事業の事業費について、議会終了後に国の補助金の金額が確定したということから、示された補助金に合わせて、金額に合わせて今年度の実施内容の見直しや、当初より肉付け予算として計上すべきとしておりました予算などを追加で計上するといったことの修正といったものも反映したものとなっております。

それでは、まず2ページをお開きいただきたいと思います。

今回対象とするJR花巻駅東西自由通路・駅橋上化事業、花巻駅西口広場整備事業と新花巻図書館整備事業は、国交省都市局が所管する都市構造再編集集中支援事業費補助という補助制度を活用しておりまして、この補助金を得るために「都市再生整備計画 花巻駅周辺地区」を策定して進めております。

めくっていただいて、3ページをお開きいただければと思います。

これらの事業は、それぞれ「都市体制整備計画花巻駅前周辺地区」の部分として位置付けられており、3月に示された補助金は、この計画全体への補助金ということで示されています。

すなわち、JR花巻駅東西自由通路・駅橋上化事業、花巻駅西口駅前広場整備事業と新花巻図書館整備事業のそれぞれではなくて、これらの総体に補助金の総額が示されたという形で国から補助金が示されております。

今回、国費要求額としては4億3,818万5千円を要求してましたが、結果的に内示額としては1億6,168万2千円という金額が示されたということです。

この示された金額に合わせて、今年度実施内容の見直しをしたほか、先ほど申し上げたように、今年当初より肉付け予算として計上すべきとしていた内容についても修正の上計上をしていくということで、それらの内容を説明させていただくということでございます。

では、1ページの方に戻っていただきまして、縦長の資料でございます。

あらかじめお送りしておいた資料でございますが、1ページに数字の間違いがありました。今日は、本日お配りした資料をもって説明を聞いていただければと思います。訂正があったのは、資料の下段の表、1番下の表ですが、R8年度原計予算額の列、左から2番目の列の地方債の行の数字を本来117,800と示すべきところを117,000と記載してしまっておりました。正しくは117,800ということで、今日お配りしている資料でございます。不確かな資料で示してしまいまして、大変申し訳ございません。

それでは、説明を続けさせていただきます。

1ページ上段の「JR花巻駅東西自由通路等事業の補正予算」の部分についてご覧いただければと思います。

まず、考え方として、示された補助金が要求額より小さい金額であったことから、補助金全額を工事が実施されているJR花巻駅東西自由通路・駅橋上化整備分に全て当てていくということで、それに伴い、今年度予定しておりました花巻駅西口駅前広場整備事業にかかる工事の部分を取りやめるほか、用地取得に関しては、用地測量や調査のみを実施しまして、用地費用については別な財源として、市で保有しております土地開発基金で対応することにしました。

結果的に、工事を取りやめた分が大きいというところで、全体としては1億5,386万6千円の減額となっております。

以上が、JR花巻駅東西自由通路、西口駅前広場事業の説明でございます。

（梅原生涯学習部長）

それでは次に、1ページ目の下の段の「2図書館整備事業の補正予算」をご覧ください。

最初に、先ほど資料の訂正のお話を建設部長からいただきましたが、事業費の部分、令和8年度現計予算額が正しくは372,687というところ、事前にお配りしした資料では327,687になっておりました。申し訳ありませんでした。本日、訂正した資料をお配りしております。

それでは、説明をさせていただきます。第1号補正予算として約8,093万円の補正をお願いするものでございます。

財源内訳につきましては、国費が1億2,407万2千円の減額となりますが、合併特例債を1億4,960万円増額しまして、また、一般財源をまちづくり基金から繰り入れる3,000万円を含めて5,539万9千円を増額するものです。

次に、主な要求内容をご説明申し上げます。

まず、図書館資料購入費3,000万円ですが、新花巻図書館整備基本計画では、オープン時の蔵書数を28万冊と想定しており、令和8年度から令和12年度までの5年間で計画的に図書を購入する予定としております。

令和8年度は約8,300冊の購入を予定しておりますが、市民ニーズや地域性を考慮し、一般図書のほか、児童書、参考図書、郷土資料などをバランスよく収集してまいりたいと考えております。

次に、既存建屋解体工事实施設計業務586万3千円は、新図書館整備予定敷地内にございます既存建物について、解体に先立ち、アスベスト含有調査、産業廃棄物処理計画の策定、解体工事費の積算などを行う実施設計業務でございます。

次の測量調査等業務1,183万4千円は、登記測量用図面作成業務と地質調査業務でござい

ます。

次の事業認定用相談資料作成業務1,315万6千円は、用地取得に際し、JRから事業認定が用地譲渡の条件とされていることから、事業認定申請に必要な資料を作成するものです。

次の土木工事詳細設計業務1,634万6千円は、基本設計に基づき、駐車場やロータリー、歩行者動線、植栽、照明設備などの外構の実施設計を行うものです。

次の不動産鑑定業務66万5千円は建設用地の面積が確定した後で、土地所有者であるJR東日本との用地取得価格協議に向けて、不動産鑑定士による適正な評価額の算定を行うものです。

最後は、図書館設計業務等にかかるアドバイス謝礼等306万3千円です。

これは専門家からのアドバイスをいただくための経費でございまして、1つ目は、専門家による基本・実施設計の意見聴取謝礼等です。

建築や図書館運営等に精通する方5名の方をお願いして、それぞれの専門的見地からアドバイスをいただきたいと考えており、基本・実施設計の公募プロポーザルの選定委員をお願いする予定としております。設計の進捗状況に応じてご意見を伺い、設計に反映させてまいりたいと考えております。

2つ目は、図書館整備設計及び運営に関するアドバイザー謝礼等です。

これは、全国的な図書館の先進事例に精通した専門家に、蔵書構成や配架計画、図書館サービスのあり方、職員配置など、新図書館の設計段階から開館後の運営まで継続的にアドバイスをいただきたいと考えているものです。

以上が、図書館整備事業の補正予算の説明でございます。

(蛭田建設部長)

続きまして、先ほど説明した内容で、JR花巻駅東西自由通路の減額の金額ですが、1億5,386万6千円と申し上げてしまったんですが、1億5,388万6千円ということで、資料の方が正解でございます。訂正をさせていただきます。

続きまして、4ページをご覧くださいと思います。

4ページ、要望書の表紙がございますが、これまで説明した通り、今年度得られた補助金というのが思いのほか少額だったということでございまして、来年度以降の充当率向上を目的に、市長から中央省庁である国交省であるとか、あと財務省であるとか、それと当地域選出国會議員にこの事情を知っていただき、応援をしていただこうと考えてございまして、要望活動を展開してまいろうと思っております。その資料が、要望書になってございます。

毎年、花巻市は単独で中央省庁などに要望活動を行っておりますし、その他、7月から11月にかけて様々な要望機会がございまして、そういった機会を捉えて、中央省庁や国會議員の先生などにこういった事業の必要性というものを繰り返しお伝えして、応援をしていただくといったようなことを今後考えていきたいと思っております。

今日の資料の説明は以上でございまして。

(伊藤総合政策部長)

以上で担当からのご説明を終わります。それでは、皆様からご質問をお受けしたいと思いま

す。ご質問のある方、挙手をお願いします。

照井明子議員。

（照井明子議員）

先ほど、建設部長の方からですね、要望書の背景についてご説明がございまして、その中で、国からの補助金が予定していた額より少なかったというようなご発言がされておりますが、当初の補助金はいくらで予定されていて、それがいくらになったのか、またその背景ですね、なぜ国が補助金を減らしたのかについて、もしお分かりならばご説明をお願いします。

（蛭田建設部長）

今説明の中でも申し上げた通りでございしますが、金銭的なものを再度申し上げますと、国費の要求で、要求額が4億3818万5千円でございます。それに対して内示額が1億6168万2千円ということでございます。

また、質問は、なぜ減ったのかといったようなことという理解でよろしいかと思いますが、内示額につきましては、国の方でやっておる仕事でございしますので、具体的になぜかといったような、この個別具体的なものというのはなかなか示してはいただけませんが、公開された情報から分析をしますと、まず1つ言えることは、この都市構造再編集中事業、岩手県内で配分を受けてるのが4つの市町でございします。それぞれ事業の進み具合によって必要なお金というのは違うのですが、傾向的には、事業が具体的に進捗して、工事が具体的に進んでいるところに配分額が多いというような傾向はあるかなと思ってございます。

そういったちょっと諸々我々も分析しておりまして、いずれにしても、少なかったということは事実でございしますが、補正があるならば国の補正予算などに追加で要求していくというものも当然考えていきますし、それと、来年度以降、今度は東西自由通路も具体的に事業は進んで、工事進んで参りまして、金額も大きくなりますので、そういった大きいお金がないとなかなか事業進まないといったことを、中央省庁、それとあと国会議員の先生の皆さんに訴えかけて予算獲得に邁進していきたいと思ってございます。

回答は以上でございます。

（伊藤総合政策部長）

照井明子議員。

（照井明子議員）

こちらの要望額と比較いたしますと、かなりの差があるというふうに思っております。前市長はですね、この事業を進める際にあたって、国の補助金が非常に手厚いんだっていうような印象付けをされたというふうに私個人では受け止めておりましたので、事業を進めるにあたっては花巻市民のご負担はそんなにないんですよっていうような、そういったふうに私個人は受け止めておったわけですが、このような、国がですね、こうした公共事業に対しての減額を、国とすればですね、そういった方向性が今後ますます強くなるのかなっていうふうにも私は予想しておりますけれども、そうなると、最終的に花巻市の持ち出しぶん、花巻市の負担、つまり市民の負担っていうことも最終的には変わりうる。

そして、私、本議会でも言いましたけれども、今物価高騰で単価自体が上がっている。
もう当初の予定額では済まない状況になっている。
中東情勢もさらに輪をかけている。そうした中で、かなりですね、事業費の高騰、それから市民の負担増大、増額、これが予想されるというふうに思っております。
その点についてはどのように捉えておりますか。

（蛭田建設部長）

要望書ですね、5ページを見ていただきたいんですが、ただ、ここで書いてあることは、ただ事業がやりたいということだけではございません。（2）の方になるんですが、最初から、資材価格高騰や賃金水準の上昇を加味したということで、まずこういった社会状況の変化というのも当然我々捉えまして、国に訴えかけていくということを説明させていただいています。
ですので、こういったことも加味した上で、公共事業全体をしっかりと実施できるような予算を全体として確保していった欲しいといったことを、この（2）の方で申し上げさせていただいている通りでございまして、こういったことも踏まえて、事業が円滑に進められるように補助金の充当というものをお願いしていくということで頑張っていきたいと思っております。

市民の負担が増えるということについてはですね。補助と単純にバランスだけで申し上げれば、補助金がなくなればその分だけ市の単独費というものが増えていくといったことをおっしゃっているんだと思うんですが、その点については我々も危機感を持っております。だからこそ、こういった要望を強く働きかけていくということを考えており、ここで説明させていただいているのは、議員の皆様にもそういった市役所がやろうとしていることを知っていただきたいということと、議員の皆様お一人お一人にこの事業を応援していただきたいという気持ちから、この要望書の説明をさせていただいております。確かに、結果的には補助金が減れば負担が増えるだろうということは、数字上、算数上は事実だと思いますが、まず、今は事業が始まったばかりでございしますので、ぜひこういった形で予算を獲得してしていくということについてご理解を頂戴できればと思っております。
以上でございます。

（伊藤総合政策部長）

照井明子議員。

（照井明子議員）

なかなか、100パーセントですね、今のお答えに満足できるかって言ったらば、私は市民に対して説明責任をまだまだ果たせない説明内容であるというふうに捉えます。あとは本会議で機会があれば伺いたいと思います。

（伊藤総合政策部長）

よろしいでしょうか。はい、それでは、他に質問のある方。
内館桂議員。

（内館桂議員）

この国に対する予算の要望の関係ですけども、これって毎年行うようなことになりうる見込みがあるんじゃないですか。その辺、ちょっとお聞きます。

（伊藤総合政策部長）

蛭田部長。

（蛭田建設部長）

お答えいたします。毎年やらなければいけないかというご質問だと思いました。結論はその通りでございます。というのも、よく他の公共事業でもあるんですけど、事業化するまでは非常に頑張るんですが、事業をやってる間というのはこういった要望活動というのは途切れてしまうことがいろんな事業で多々ございます。

しかしながら、事業中が1番、予算がかかる状態でございます。毎年毎年確実に予算を獲得していかなければいけないということであり、事業が始まってからこそ要望をし続けて、皆様の力添えをいただいて事業を進めていくということになるかと思えます。

（内館桂議員）

市民の皆さんに説明して、この事業をやっていこうということで国が補助を増やしていくと、そういう前提のもとで始まったわけですね。先ほど照井明子議員もおっしゃいましたが、物価高騰、諸条件がかなり違ってきている中でこれを進めていこうとするときにですね、これまでの議論をした中で、市民の皆さんは、国が推し進める事業を展開していく中でこれがしっかり出していくんだと、こういう理解のもとで進めている。

でも、現実にかこうしたことが起きているってことはですね、私は、直感的に見た場合に、来年度以降の事業にね、これが大きく影響してくるのではないかな。それは、国の手立てが、本当にこのままやっていけるのかどうか、どんどんこれ一般財源での負担が増えていく危険性があるんじゃないか、そういう見通しが非常に心配されるんじゃないかという思いをするわけですよ。それがですね、今部長ね、国のね、やり方、あるいは事業が始まってその進め方がこういうものなんだっていうのはいい言い方してますけどもね。

確かにそうかもしれないけれども、我々からしてみれば、一般財源っていうものがどれだけ貴重なものなのかっていうことをですよ、国も1番よく知ってる話じゃないですか。それが今こんな形で補正予算に出てくること自体がおかしいんじゃないかっていうふうに思うんですよ。で、来年度ね、この今減額したものを来年度やる。これもやらない可能性もあるんじゃないですか。そして、事業が長引くじゃないですか。いつになったらこれできるんだっていうことになるんじゃないですか。そういう心配になると、皆さん頑張ってるのはわかる。でも、どうもね、これ、どういうふうに言えいいんでしょうね、これね。で、我々議員も頑張ってくれて、こう言えばありますけどもね。いや、頑張りますよ、それは決めたんだから。けども、そのやり方がどうするのか。今こうした形で議論される話は、やっぱり私はどうも承服しかねる部分がある。

それだけ言っときます、これを、（今）いろんなこと聞いてもなんともならないというふうに思いますので。

(伊藤総合政策部長)

その他にご質問ある方。

及川恒雄議員。

(及川恒雄議員)

説明ありがとうございました。私からはですね、今回減額した分というか、ついた分は工事費の方に振り向けたということで先ほど説明ありましたが、これ、現時点でのですね、供用開始年度に影響というのは及ぼすのかどうか、ちょっと確認したいと思います。

(蛭田建設部長)

お答えします。今年やっていることというものを改めてご案内申し上げますと、東西自由通路については3月に工事が契約されて、これから着手段階でございます。

図書館については、ご案内の通り、現在設計を進めている段階ということでございます。

そういったことで、まだ事業を着手した非常に初期の段階ということでございまして、現状、今回の補正予算に伴っての工事内容などの修正が直ちに供用年度に遅れが生じるといったことは考えてございません。

(伊藤総合政策部長)

よろしいでしょうか。そのほかにご質問のある方。

伊藤盛幸議員。

(伊藤盛幸議員)

先ほどの説明は、自由通路・図書館一括しての国の交付額のイメージ、今後そうなるんだと思うんですけど、この資料だけ見てですね、新花巻図書館の部分の国費の部分が1億2400万減額をして、合併特例債1億6000万ぐらいの話がありました。1億4900万ですよ、その国費を予定している事業内容は、ここに書いてあるいろんな設計業務なんですよ。これが国費ではなくて合併特例債に振り分けるとした時に、全体的に国費の分が当初予定したようにこう減るということでよろしいのか。そうすると、いわゆる合併特例債を充当しますから、国の70パーセント交付税措置以外の部分がまた一般財源と言いますか、を充当しなければならないという事態になるというふうに捉えていいのか、お尋ねをいたします。

(梅原生涯学習部長)

お答えいたします。今回の国費でございますが、図書館整備事業については、建設工事など全体事業費の2分の1、最大で15億円の補助という上限が決まっております。

今後、令和10年度あたりから建設工事などが本格化してまいりますので、そちらの方で補助金を取得することを考えながら、要望活動も進めてまいりたいと思います。

今後の国費の金額は、今時点では私たちもお示しできないものがございしますが、財源については考えながら、設計についても工夫できるところは工夫しながら進めてまいりたいと思います。

(伊藤総合政策部長)

伊藤盛幸議員。

(伊藤盛幸議員)

今の工夫しながらとは、何を工夫するかちょっとわからない。財源措置を工夫するってことですか。何を工夫していくんですか。

(伊藤総合政策部長)

高橋新花巻図書館整備室長

(高橋新花巻図書館整備室長)

私の方から補足をさせていただければと思います。

先ほど2つの話がございまして、1つ目の15億っていう部分に関しては、図書館の事業費に対する国の補助金が2分の1の15億という部分がございます。ですので、15億を十分に充当できるように要望活動を進めていきたいというのが、まず財源の問題が1つあります。

もう1つ工夫していきたいという部分につきましては、こちらの設計の方で工夫できる部分、先ほど内館議員もお話あった通り、物価高騰やナフサなどいろんな条件はございますけども、ある程度設計事業者に対してはそういうのを加味した上で、削れるものは削って、できるだけ事業費の中で行ってほしいという話をさせていただいていますので、後日お示しできればなというふうに考えております。

(伊藤総合政策部長)

伊藤盛幸議員。

(伊藤盛幸議員)

わかりました。全体で15億の国費という部分がですね、今般措置されなかった、国ではですね。自由通路の部分もありますから、これがどうのこうのって多分できないのかもしれませんが、先にこうやって国費対象であるべき事業を合併特例債入れてやるっていう時に、その15億の中で戻すというような部分のイメージである、ないですね。そのことをちょっとお尋ねしたかったんです。

要するに、15億の補助メニューの中に、今般も1億5000万、下がったので1億2000万、それ後から復活できるなんてことがあるんでしょうかということです。

(蛭田建設部長)

お答えします。未来の話を確定的に答えるのは難しいということをご承知いただきたいということでございます。

補助金の配分というのは、その時々、社会情勢の変化によって変化することから、現時点で確実なことは言えないということでございます。ただし、現状、図書館事業の内容を見ますと、補助の対象になるのは今年度の実施設計と工事の部分とその2つが、補助対象になるということで、今回は実施設計分の補助がいただけなかったという、現時点での認識です。今年国の補

正予算があれば、少しでも要求していきたいと思っております。

それと、来年度、工事そのものは再来年度になるんですが、再来年度以降、工事が始まる時にはですね、しっかりと補助金を得たいと思ってございまして、結果的にこれから行う事業をしっかり積み上げて国に示すことで、図書館分の15億っていうものを獲得できるようにやっついこうとは思ってございます。

(伊藤総合政策部長)

伊藤盛幸議員。

(伊藤盛幸議員)

はい、わかりました。それでは、もう1点ですね。

図書館図書購入費3000万、補正をされると。開館時には28万冊の予定ですよってということで説明ありましたが、令和12年か3年開館を目指して4・5年ある中で、1回にその図書購入費が増大するのをもしかしてこう防ぐために早く買うのかもしれませんが、最新の図書を買うって言った時にですね、今買っていい。(あとから)「あれ」ってならないかなという部分の心配がありますが、お考えをお聞きます。

(伊藤総合政策部長)

梅原生涯学習部長。

(梅原生涯学習部長)

お答えします。そのご懸念はわかりますし、そのようなご意見もございしますが、近年の出版の状況を見ますと、出版後すぐに絶版になってしまうケースが多くございます。小説などもそういう傾向がございしますので、買えるときに買っておきたいという気持ちがありますし、今年度に購入を考えている本は、ロングセラーの絵本など内容が陳腐化しない本(長く読まれてきて今後も読まれる本)などを先に購入したいと思います。

また、図書館では各小学校や保育園などに本を文庫として貸し出しておりますが、破れていたり、本の汚損が進んでいるものもございしますので、今のうちに本を差し替えることも考えております。

そのほか、本を購入したら、そのまま図書館におけるわけではなく、配架するまでには、書誌を登録するなど様々行わなければならない手続きもございしますので、計画的に開館を目指して購入していきたいと思っています。

(伊藤総合政策部長)

佐々木精市議員。

(佐々木精市議員)

はい、佐々木精市です。それでは、この花巻駅東西自由通路と、この補助金が減額されたということで、この理由はということで、はっきりその理由はなかなか分析しきれてないということでしたけれども、ここの減額された部分に関してのある程度の目処を立たないと、これから毎年譲

歩いていくわけですので、そこはちょっとしっかり分析していかなきゃならないではないかなというふうに思いました。

私は、どうであれ、岩手県そして花巻市のやる事業において、国からの補助がしっかり受け取れればどのような人の力もお借りしても結構だと思うんです。そう考えれば、岩手県内選出の国会議員、他の人にもお声かけして協力を求めるということもあってもいいんじゃないかなと思うんですけども、その点はいかがでしょう、

（伊藤総合政策部長）

蛭田建設部長。

（蛭田建設部長）

実際の要望活動の時は、県内選出国会議員全員の部屋を巡って、市の統一要望をやっておりますので、そういったところでは当然のことながら県内選出の国会議員の皆さんが対象にはなりますので、もう全ての方に応援をいただくということで進めていこうと思っています。

（伊藤総合政策部長）

その他にご質問のある方。

鹿討康弘議員。

（鹿討康弘議員）

説明わかった部分、ちょっとわかんない部分あるんですが、この減額措置の情報が入ってきたのはいつですか。

（伊藤総合政策部長）

蛭田建設部長。

（蛭田建設部長）

内示が示されたのが、3月の日付がここに記録にないんですが、3月の下旬でございます。

（伊藤総合政策部長）

鹿討康弘議員。

（鹿討康弘議員）

結局話違うなっていうふうにちょっと思ったんです。我々がそう思った以上、市民も多分そう思うんですね。今回の件を市民から説明求められた時に、我々はどのように説明すればいいのか。協力を仰ぐとは言われましたが、そこは今ちょっときっちりと頭の中で整理できてないんですね。市民から説明を求められた際、今後もこういった毎年毎年要望書を出していくことになりかねない、それじゃ国に騙されたんじゃないの。っていう方もいるかもしれない。その市長の計画と全く違ってきてる以上は、そもそも駅前派といわゆる旧花巻病院派が対立してた時期があるもんだから、この話もまたある意味、火種になりかねないとは思いませんか。

(伊藤総合政策部長)

蛭田建設部長。

(蛭田建設部長)

まず、事業の成り立ちで色々議論があったというのはその通りなんです、東西自由通路はそもそもが今東側にしかない改札を西側の方にも作って、それで駅のパフォーマンス、それと中心市街地のパフォーマンスを上げていきたいというのが根底にありますし、図書館については老朽化していて、すでにバリアフリーといったそういった機能も不足しているということで、建て替えなければいけないという問題意識からスタートしていることからすると、今事業がこうやって具体化して進んでいくことについては進めていくべきではないかというふうに我々は思っておりまして、その経緯で様々な議論があったことは事実ではありますが、今は一丸となってこの事業を進めていくといったことでお願いできればなと思ってございます。

(伊藤総合政策部長)

鹿討康弘議員。

(鹿討康弘議員)

もうすでにね、工事関係者からいろんな情報がやっぱり入ってるんですよ。

ある意味、今回の事業に対しての、今回の補正予算の話も含めた話、どこまで情報が入ってるかどうかわかりませんが、私のところの方には、いわゆるその事業をいわゆる冷やかな形で、いわゆる様子を見て手を出さない、もしくは手を引くというような事業者ももう既に出始めてるってというような情報も入ってきてますが、これは、すいません、あくまでも情報ですので、確認取ってるわけではないです。

とにかく、今すべきことは、みんなが一丸となってこの事業を推進することだと思います。そのためには、いわゆる不信感なくそれを市民にきちっと説明しなければいけない義務が我々議員にはあります。そういった意味では、今回、確かに国の措置は減額されたけども、総額でいえばこれからも要望書を出し続けて、市民への負担はさほど多くはないという話をしているんですか。

(伊藤総合政策部長)

蛭田建設部長。

(蛭田建設部長)

お答えします。まだ事業が始まったばかりの段階で、事業、事業費、進捗もまだ1割、2割といったところの事業費割合でいこうですね、そういった状況ではございますので、今後ですね、そういった市民への負担というものがないように補助金を得ていくといったことを我々やっていきますので、そういったことを努力していくということを言い添えていただいた上で、市民の負担がないように頑張っていくといったような言い方をさせていただければと思います。

（伊藤総合政策部長）

その他にご質問のある方いらっしゃいますか。
高橋都市政策課長。

（高橋都市政策課長）

先ほど、内示の日がいつかというご質問ありましたが、3月下旬と申し上げましたけれども、こちら、国の当初予算が決まってからの内示でございましたので、4月に入ってからでございました。大変失礼いたしました。

（伊藤総合政策部長）

よろしいでしょうか。はい。それでは、以上で3点目のJR花巻駅東西自由通路等整備事業等の補正予算についてを終了いたします。